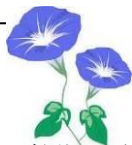


— ふるさとを愛し未来を拓く子の育成をめざして —



新居浜市一宮町一丁目5番1号 学校教育課
tel (0897) 65-1301

早くも1学期も終盤となりました。今学期の各小・中学校や新居浜市のE S D推進における取組状況をいくつかお知らせいたします。

平成29年度ESD主任研修会



- 1 日 時 平成29年6月8日(木) 13:50~16:50
- 2 場 所 新居浜市役所 5階 大会議室
- 3 講 師 江東区立八名川小学校長 手島 利夫 氏
環境省四国EPO職員 内田 洋子 氏
- 4 主な研修内容

- 研修会前半は、「E S Dの進め方～E S Dカレンダーの活用や新学習指導要領との関わりを通して～」をテーマに講義をしていただきました。後半は、同一テーマによるワークショップでした。主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「教科横断的な学び」を構築するために、E S Dカレンダーを活用する方法を具体的な実践例をもとに学ぶことができました。参加した各学校E S D主任は「自分たちの考えた学校のあるべき姿」という視点で新学習指導要領を読み込むと、「E S Dと指導要領が切り離せない密接なものになっている。」ということを実感できたと思われます。
- 「主体的な学習づくり」の進め方として、単元の導入をめぐる意見の交換をしたり、導入時にどのようなステップと視点をもって授業を組み立てるとよいかを考えたりして、カリキュラムマネジメントの手法を学ぶことができました。この手法を用いてぜひ各学校で新しい単元を1つずつ開発していただきたいと思います。



ようこそ!!母校へ 「人権教育講演会」

1学期は多くの小・中学校で人権啓発を目的に「人権・同和教育講演会」を行っています。毎年各学校の実態に合わせた講師の方を選定し、保護者や児童・生徒に対して、工夫を凝らした講演会等を実施しています。そのうちの、惣開小学校の取組を紹介します。

平成29年6月23日(金)、惣開小学校出身の版画家 石村嘉成さんとお父様の石村和徳さんを講師に招き、人権教育講演会が実施されました。2歳の時に自閉症と診断された石村嘉成さんは、高校時代に版画と出会い、自宅アトリエで創作活動を開始し、現在国内外の展覧会で入選を重ねています。嘉成さんが語る作品に込めた思いには、生き物に対する温かい気持ちや優しさ、人としての強さや愛があふれていました。また、嘉成さんが幼いころに亡くなったお母様に対して「見ていてね。しっかり生きてるよ。」というメッセージとも感じられました。お父様の和徳さんが、「みんなの心の中にある宝箱のカギを開けるのは、自分自身。でも、周りのサポートも重要。一人一人が輝く世の中にしていきましょう。」と児童や保護者に熱く語っておられた姿が大変印象的でした。



いつもの体育館がまるで美術館のよう!!



どの作品にも愛があふれています。

ESD推進における環境教育支援事業

平成29年6月27日(火)、船木小学校で環境に関する出前授業が実施されました。この出前授業は、市民の方からの提案により、学校教育課と「にはま環境市民会議」の協働事業として実施されています。この日、船木小学校4年生児童は、コンポストの役割とごみを分解する微生物の働き、処理の手順を学んだ後に、グループに分かれて、コンポストの組立から生ごみの処理までを体験しました。児童は仲良く楽しみながらも「ごみ減量」について、しっかり学んでいました。今回作成したコンポストのうち2個は、学校の飼育小屋に設置して、給食室から出る生ごみを活用して、たい肥を作っていきます。今後出来上がったたい肥の活用方法について学び、環境に対する理解を深めていく予定です。

この出前授業は川東中学校でも開催予定です。また、本事業により、「エネルギーに関する出前授業」も船木小学校、泉川小学校、川東中学校にて、今後実施していきます。



協力して、コンポストづくり

第1回ESDワーキンググループ会議開催

平成29年6月29日(木)、第1回ESDワーキンググループ会議を実施しました。昨年度に引き続き、若手教員を中心に、ESD推進リーダーを養成することを目的に開催しています。本年度のワーキンググループ班員は、次の先生たちです。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ○ 泉川中学校 越智 誠司先生 | ○ 船木中学校 守谷 和洋先生 |
| ○ 川東中学校 矢野 誠治先生 | ○ 惣開小学校 真鍋 真奈先生 |
| ○ 垣生小学校 船田 みどり先生 | ○ 神郷小学校 金山 明弘先生 |
| ○ 多喜浜小学校 篠原 淳夫先生 | |